

文化のまちづくり

ふるさと創生資金と

「近松祭in長門」

市政施行40周年を迎えた平成6年、地域の特性を活かしたソフト事業活用を助成目的とした「ふるさと創生資金」を充て、近松長門出生伝承に基づく『近松祭in長門'94』記念イベントを開催しました。楽棧敷での地芝居公演や、ドナルド・キーン氏による記念公演、鳥越文蔵さん、吉田襄助さん、池田理代子さん、鈴木健二さんをお交えての近松シンポジウム、内海清美さん制作による和紙人形展示など、近松文学をより身近に、肌で感じることでできる数々のイベントを繰り広げました。

'95では、上々颯風コンサートや中村鴈治郎さんの踊りと講演、吉田襄助さんによる文楽公演などを開催。3年目となる今年度は、歌舞伎公演、長門オリジナル野外公演、3年連続となる文楽公演など、特に長門オリジナル野外公演では、小学生を含む60人もの市民が参加。『近松祭in長門』は観覧型から参加型へと新たな展開が試みられました。

この間、舞踏家の滑川五郎さん、打楽器奏者YASUKAZさんなど著名な芸術家も数多く参加、楽棧敷での近松パフォー

マンスを繰り広げました。

NHKの共催によるこれらのイベントはマスメディアを通じて全国に、またインターネットにより世界へ情報発信され、『近松祭in長門』による文化のまちづくりは、大きな反響とともに、東京近松会の結成など広がりを見せています。

文化交流拠点づくり

2005年を目標年次とした『第3次長門市総合計画』では、3つのプロジェクト（長期的重点事業）を定めています。その一つ『文化交流拠点都市づくり』において、(抜粋)

1 長門市総合公園整備プロジェクト

広域的中核施設（文化ホール・アリーナ）、図書館など、文化・スポーツ等の活動の拠点づくり

2 近松・人形劇のまちづくり

近松門左衛門出生伝承に基づき、文化ホールを活用した人形劇（文楽）―演劇に取り組み、また現代の劇作家、音楽家、人形劇団、演劇などの創造的な拠点づくりをめざす文化施設整備の将来像を、市民はもちろん全国・世界の人々

をも魅了する、「近松門左衛門」「金子みすゞ」の2人の郷土出身芸術家に関わる施設・内容としています。

平成12年完成文化ホール

昨年9月、二井県知事は「近松祭in長門」に代表される、長門地域における高度な芸術文化の発信拠点となる文化施設の整備に取り組むこととし、基本設計費等の所要経費7千百万円を計上した」と予算提案説明を行いました。そして2月19日の新年度事業概要発表のなかで、9年度から11年度にかけて、長門市総合公園内に文化ホールの建設（800席程度約7千㎡）を明らかにしました。

「ものの豊かさから心の豊かさ」へと時は移り、地域の持つ文化や歴史などが見直される現代、近松門左衛門出生伝承に着目した文化活動が、2000年の節目での文化ホールお披露目の後ろ盾となりました。

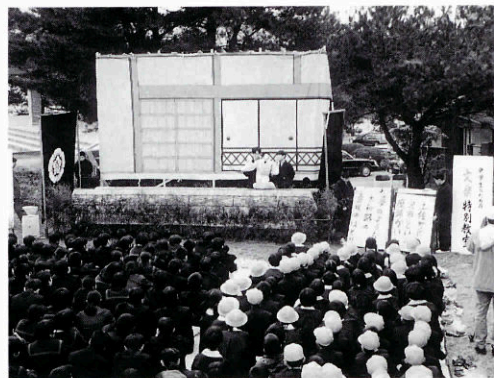
将来像を『文化観光都市』として位置づけまちづくりに取り組んでいるなか、念願の地域文化のシンボル誕生は、21世紀への素敵な夢の贈り物……。

参考文献

「近松門左衛門の生地説」長門市郷土文化研究会 利重忠著



シンポジウム「現代と近松劇」



楽棧敷での「地芝居公演」